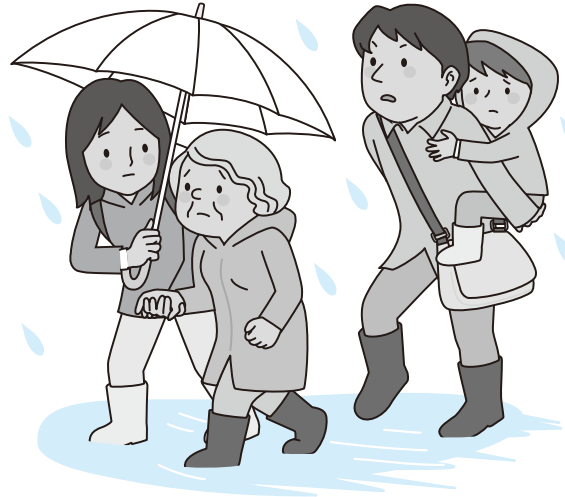


災害時の福祉施設と地域の取り組み

社会福祉施設連絡会

施設
連絡会
とは

市内の高齢・児童・障がい関係の社会福祉施設が相互の連携・調整を図り、地域に開かれた施設として地域福祉の向上に努めること、地域にある様々な福祉ニーズに対応していくことを目的に、平成24年に発足しました(77施設R5.7.20付)。



1 【台風2号(令和5年6月2日発生)に伴う取り組みについて】

八尾市と社会福祉施設連絡会では、平成27年に「災害時発生などにおける福祉避難所等の協力に関する協定」を締結しました。本協定は、大規模災害時等に災害時要配慮者を受け入れるための臨時福祉避難所の設置・運営、緊急保育等の確保に関する協力体制を、包括的に定めています(具体的な協力内容は法人と市との個別協定に基づきます)。

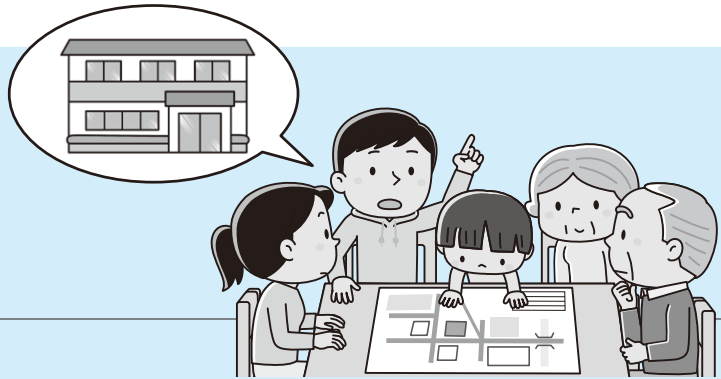
特に「災害時要配慮者支援事業 わたしの避難計画」に基づく取り組みでは、事前避難対象者を選定し、どの対象者をどの施設で受入可能か福祉避難所開設に向けてマッチングを行っています。

今般、6月2日に発生した台風2号では「警戒レベル3(高齢者等避難)」が発令され、マッチングしている施設より対象者へ受け入れや送迎の連絡がなされました。そして、5名の方が、3か所の施設において避難へとつながりました。

今回、「わたしの避難計画」を基に、施設・市・社協が連携し、高齢者や障がい者などの避難へとつながりました。取り組み実施後の振り返りにおいて、11施設より「災害時における福祉施設の取り組みに市や社協が協働している大切な仕組み」「施設受け入れとして初めての取り組みであったが、幸い大きな災害にならず、今後に向けて課題や改善点がわかった」「避難対象者だけではなく、地域全体として災害意識を高めていく必要がある」など、今後の取り組みに向けた様々な前向きな意見があがりました。

1 福祉避難所等に係る対応状況表

(1) 事前避難対象者受入可能施設	31か所
(2) 事前避難対象者マッチング施設	11か所
(3) 福祉避難所等開設準備依頼施設	9か所
死亡による対象者なし	2施設
(4) 事前避難対象者を行った施設	3か所



2 経過

- 6月1日(木) 事前避難対象者の確認 23名 ・ 市から受入施設(11か所)へ連絡
- 6月2日(金) 10時42分 危機管理課より指定避難所(山手4か所)開設準備指示
- 12時00分 警戒レベル3(高齢者等避難)発令
- 12時15分~16時 適宜、連絡調整、移送、受入
- 18時00分 避難情報解除
- 19時00分 事前避難対象者受入施設2か所(きずな2名・やまなみ1名)より帰宅が完了報告。
- 6月3日(土) 10時00分 事前避難対象者受入施設1か所(信貴の里2名)より帰宅が完了報告。

3 事前避難対象者について

- (1) 南高安地区 5名【内訳】高齢者3名・障がい者2名

2 令和5年度施設連絡会研修会を開催しました ～自然災害の備えと対応について～

令和5年7月14日(金)、施設連絡会総会後の午後2時から研修会を開催しました。熊本県菊池市社協 事務局長 加來留氏を講師としてお招きし、「自然災害の備えと対応について～事業継続計画(BCP)の視点から考えてみましょう～」をテーマに研修会を開催しました。

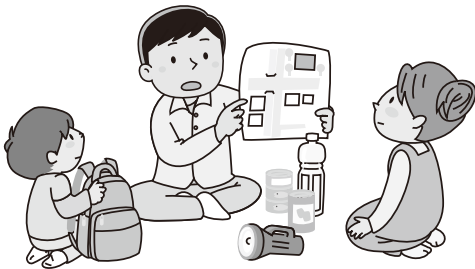
研修会には、高齢・障がい・児童分野から57施設、約65名と多くの参加がありました。また、八尾市役所、大阪府社会福祉協議会からもご参加いただきました。

講演では、冒頭、最大震度7を観測した「平成28年熊本地震」や「令和2年熊本豪雨」における被災状況の報告がありました。災害ボランティアセンターによる支援活動や被災地における避難所運営の取り組みから浮かび上がった課題では、「福祉避難所も含めた避難体制の再検討」「支援団体の混在化と情報の錯綜」「行政や地域との関わり的重要性」などがあげられました。

特に、発災時の福祉施設については、『医療、福祉、介護、児童などの種別に関わらず自治体にとって認知度の高い組織は支援機関に位置づけられる可能性がある』。また、『日頃から地域連携活動が活発である地域との関わりが深い施設は、住民や関係団体からのアクセスも併せて集中する可能性も想定される。発災直後は、近隣住民の避難所と化すこともある。』さらに、『被災直後は、通所型の施設(デイサービス、幼保育園など)であっても利用者などの滞在場所(緊急避難所)としての役割が求められる。また、福祉避難所の締結施設の場合、開設準備だけではなく利用者受入のトリアージ機能を担うことも想定される。』など、実際に大規模災害の被害を受けた被災地の実践報告を受けました。

質疑応答では、講師と、食事や避難所運営、職員の働き方、ご家族の在り方など発災時における具体的な議論が交わされました。

社会福祉施設連絡会といたしましても、今回の研修会を参考に、災害時における地域貢献のあり方や施設間連携などについて積極的に取り組んでまいります。



シニア向け地域福祉デビュー講座

～認知症の方への理解～

この講座は、65歳以上を対象に、地域福祉に関する知識を習得し、これから何かを始めよう、始めたいと思っている方向けの体験型講座です。6月1日から7月4日までの全6日間で、6月20日には認知症の方への声かけ体験を実施しました。

声かけ判断ポイント

- 高齢者が、ウロウロ、キョロキョロ、ソワソワと不自然に歩いている
- 車道などをひたすら歩いている
- 道路の縁石などに、長い時間座り込んでいる
- 季節や気候に合わない服装で歩いている など



認知症の方とどのように接したらよいか

- まずは見守る
- 余裕を持って対応する
- 声を掛けるときは一人で
- 後ろから声をかけない
- おだやかに、はっきりした滑舌で
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

★次回10月26日(木)～サポートやおで実施予定。詳しくは市政だより10月号をチェック!